

東芝食器乾燥庫設置工事説明書


- 形 NSD-454BD(引き出しタイプ)
 NSD-454BSL(左開き扉タイプ)
 名 NSD-454BSR(右開き扉タイプ)


安全上のご注意


設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
 ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 表示とその意味は、次のようになっています。

図記号の例

下に示す記号は、説明書や製品に表示して、使用者に注意を促すための記号です。書かれている内容を注意深くお読みください。

 この図記号は、してはいけない行為(禁止事項)を示します。
 \の中や近くに、してはいけない内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

 この図記号は、必ずして欲しい行為を示します。
 の中に具体的な指示内容(左図の場合、アース工事を必ず行うこと)が描かれています。

 この図記号は、警告(注意を含む)を促す事項を示します。
 の中に具体的な警告事項(左図の場合、感電注意)が描かれています。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

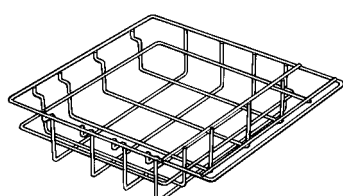
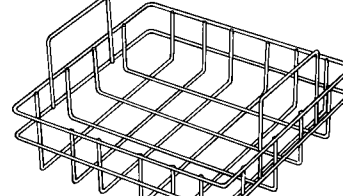
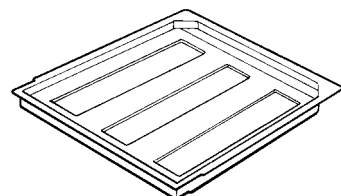
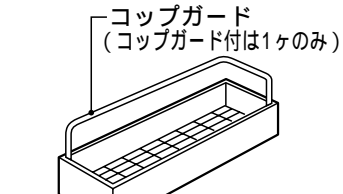
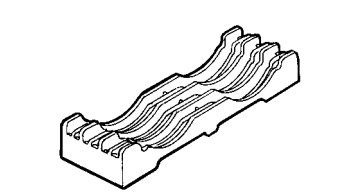
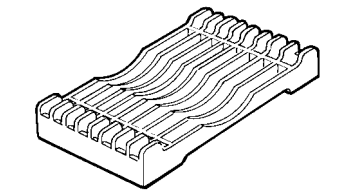
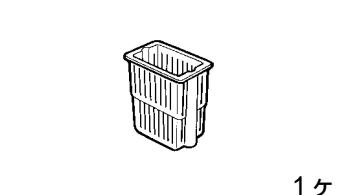
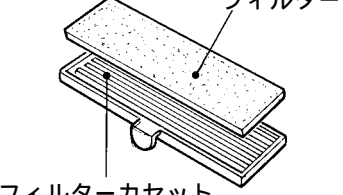
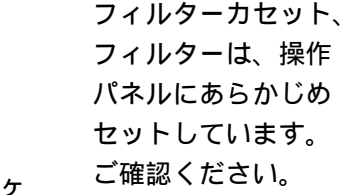
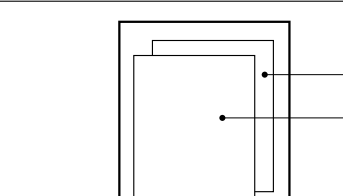
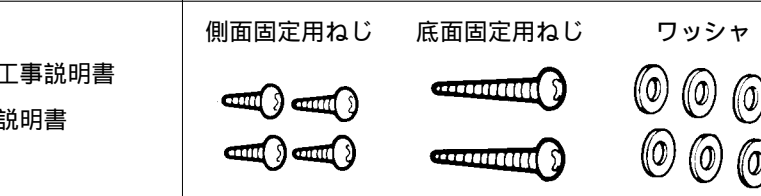
誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

物的損害とは、家具、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

1 はじめに (工事される方へのお願い)

設置工事の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
 配置前に電気配線工事が必要です。あらかじめ行ってください。
 電気配線工事は「電気設備基準」ならびに「内線規程」に準じ、電気工事登録業者に依頼して施工してください。
 この設置工事説明書は必ずお客様にお渡しく下さい。
 この工事説明書の図などはLタイプを示しますが、Rタイプは扉の開き勝手のみ異なります。

同梱部品の確認

上かご	下かご	水受皿
 1ヶ	 1ヶ	 1ヶ
小物皿	茶わん・小皿立て	中皿・大皿立て
 2ヶ	 4ヶ	 1ヶ
小物かご	フィルターカセット・フィルター	
 1ヶ	 フィルターカセット	 フィルター フィルターカセット、フィルターは、操作パネルにあらかじめセットしています。ご確認ください。
取扱説明書セット		本体取付ねじセット
 設置工事説明書 取扱説明書 各1部		側面固定用ねじ 底面固定用ねじ ワッシャ  4×16ねじ(4本) 4×25ねじ(2本) (6ヶ)

2 据付けの前に

電気配線

警告

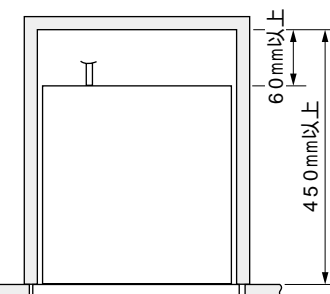
電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼すること
 ご自分で配線工事をされ不備があると、感電や火災の原因になります。

警告

定格15A以上のコンセントを単独で使用すること
 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

専門業者に依頼

コンセントを単独で使用



電源コンセント(アース端子付)は隣又は、上・下のキャビネットに設けてください。
 上記の場所に設けられない場合は後壁面に設置してください。
 食器乾燥庫収納用キャビネットの庫内にコンセントを設ける場合は、本体と背板との隙間は60mm以上必要です。
 通常使用状態で、電源プラグがはずせない位置にコンセントを設けた場合は、操作しやすいところに専用の「電源入・切スイッチ」を必ず設置してください。

接地工事

警告

アース工事を必ず行うこと
 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

警告

漏電による感電事故を防止するために、必ずアースを設けてください。
 本体にアース線(緑色)を付属しております。(有効長 約1.8m)
 アース工事は、電気工事士の有資格者がD種(第三種)接地工事するよう法令で定められています。
 アースは他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管への接続は危険ですので絶対におやめください。
 接地工事終了後は必ず接地抵抗を確認してください。

漏電しゃ断器の設置

万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。
 接地工事および漏電しゃ断器の設置は、電気設備技術基準および内線規定にしたがってください。

取付けスペースの寸法 (単位: mm)

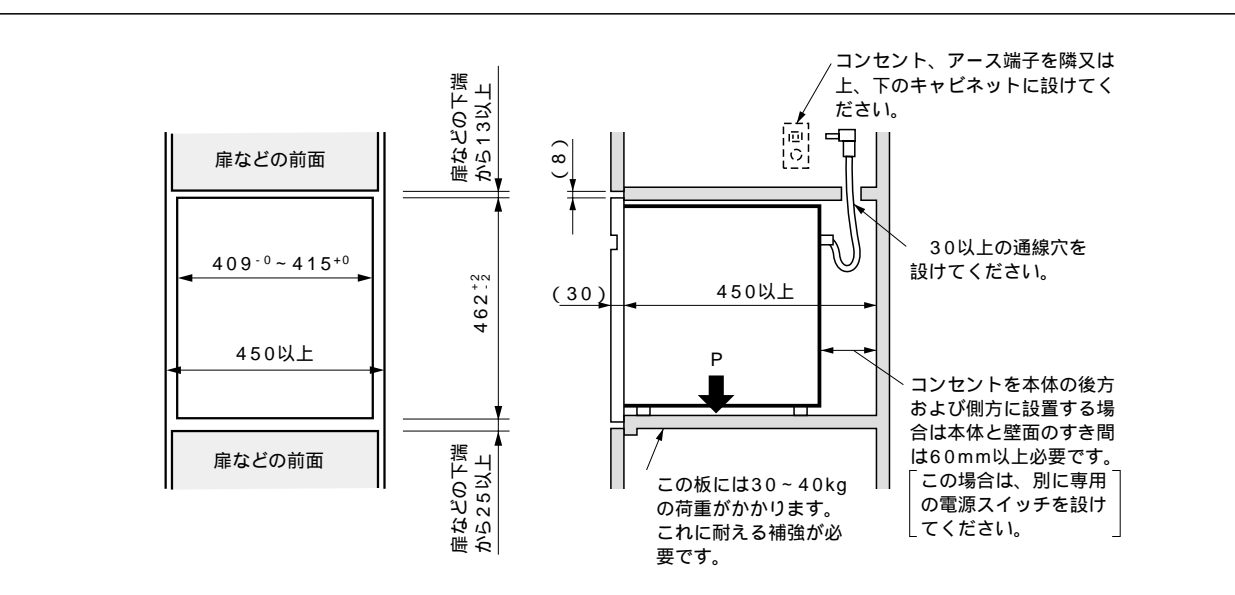
警告

固定用ねじ位置には必ず補強材を設置すること
 外形寸法図を参考に脚部及び固定用ねじ位置には必ず補強材を設けてください。
 本体を補強材に確実に固定しないと、食器かごを引き出した時、ぐらついたり前面に倒れて事故の原因になります。

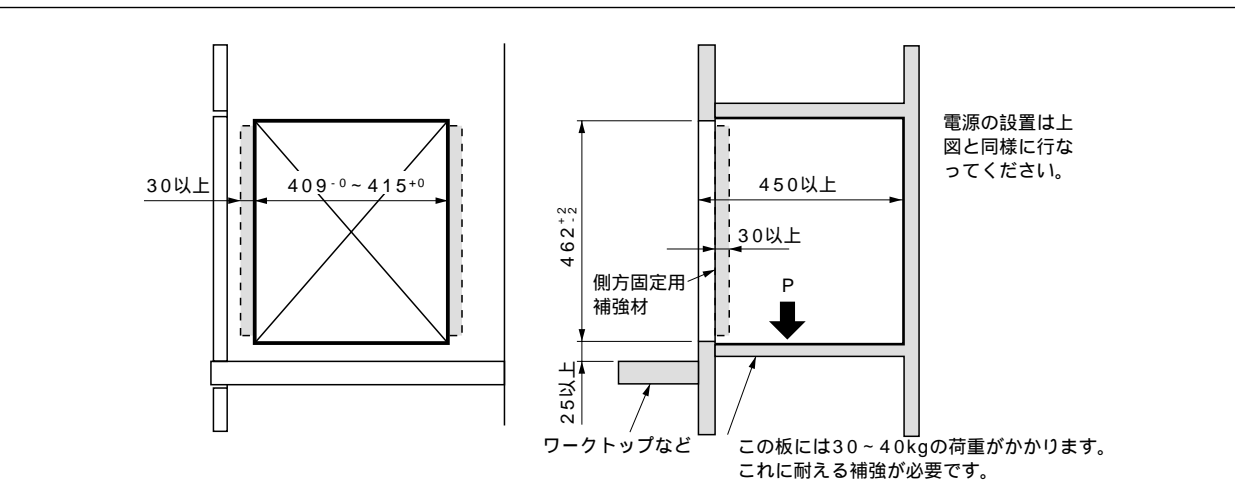
確実に固定

東芝食器乾燥庫を取り付けるためには、下記スペースの確保が必要です。必ずご確認ください。

A アンダーカウンター、シンク下部およびツールボックス正面に組み込む場合



B ツールボックス側面に組み込む場合



警告

据付工事は専門業者に依頼すること
 ご自分で据付工事をされ、不備があった場合、感電や火災の原因になります。

警告

設置工事説明書をよく読み正しく確実に工事すること
 不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因となります。

警告

アース工事を必ず行うこと
 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

警告

定格15A以上のコンセントを単独で使用すること
 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

警告

交流100Vで使用すること
 交流100V以外を使用すると火災・感電の原因になります。

警告

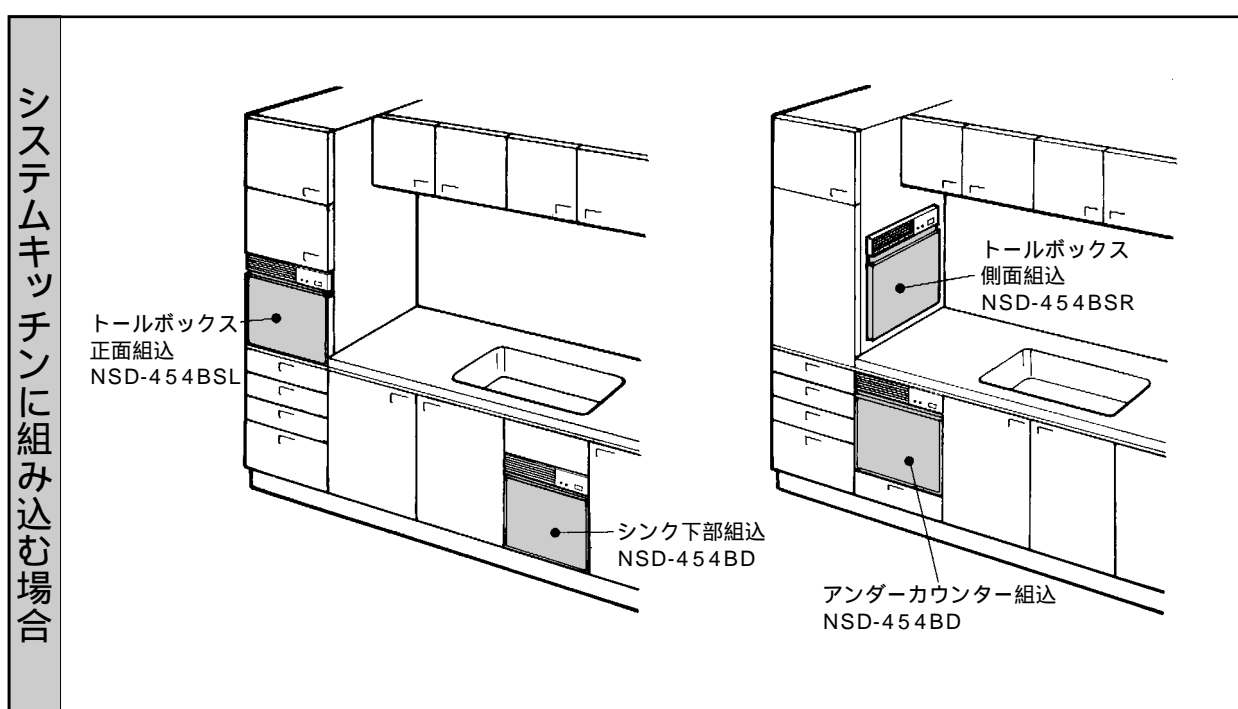
コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないこと
 電源コードが破損し火災・感電の原因となります。

禁止

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように根元まで確実に差し込むこと
 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

取付け場所の確認

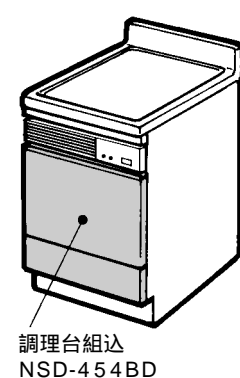


警告

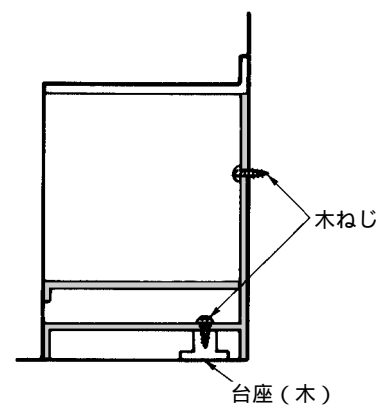
調理台に組み込む場合は必ず床面に固定すること
 食器乾燥庫を組み込む前に、必ず調理台を床面または壁面に確実に固定してください。床面または壁面に固定しないと、食器かごを引き出した場合本体がぐらついたり前面に倒れて事故の原因になります。

確実に固定

調理台組込例



調理台固定例

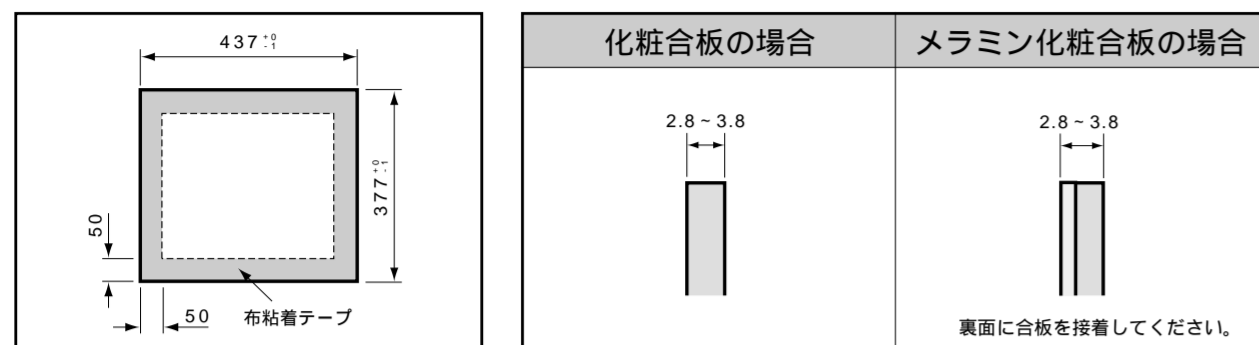


調理台に組み込む場合

3 据付け工事

1 化粧板の組み込み

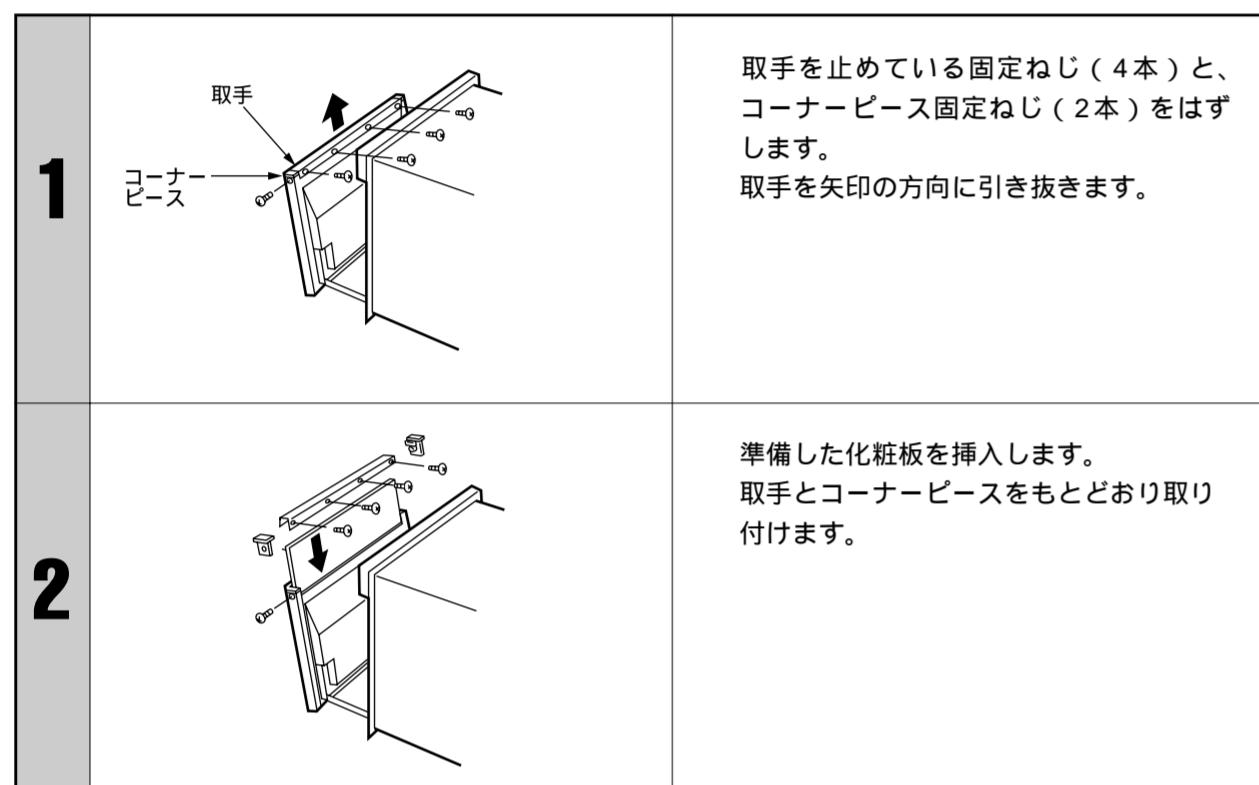
A 化粧板の寸法 (単位: mm)



扉に組み込みできる化粧板の寸法は幅437mm×高さ377mmになります。上図の範囲にあることを確認してください。

扉に組み込みできる化粧板の板厚は2.8mm～3.8mmです。板厚が3.8mmより薄い場合は、上図のように化粧板裏面に幅50mm程度の布粘着テープ等を貼り重ね、厚さが3.8mm程度になるように調節し、枠に挿入したときにガタツキがないようにしてください。

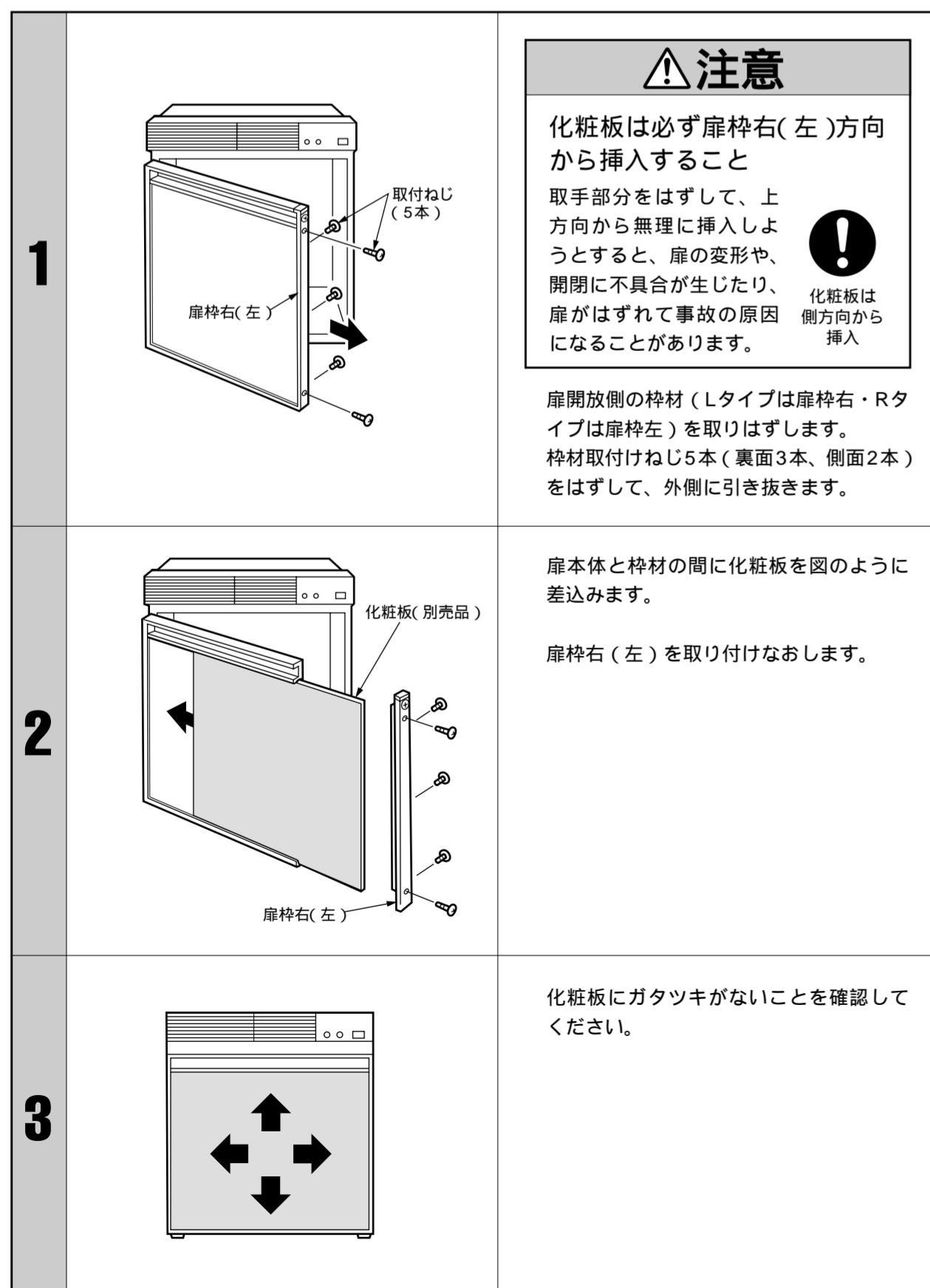
B NSD-454BD (引出しタイプ) の組み込み方法



取手を止めている固定ねじ(4本)と、コーナーピース固定ねじ(2本)をはずします。取手を矢印の方向に引き抜きます。

準備した化粧板を挿入します。取手とコーナーピースをもとどおり取り付けます。

C NSD-454BSL/454BSR (開き扉タイプ) の組み込み方法



注意
化粧板は必ず扉枠右(左)方向から挿入すること
取手部分をはずして、上方向から無理に挿入しようとすると、扉の変形や、開閉に不具合が生じたり、扉がはずれて事故の原因になることがあります。

扉開放側の枠材(Lタイプは扉枠右・Rタイプは扉枠左)を取りはずします。枠材取付けねじ5本(裏面3本、側面2本)をはずして、外側に引き抜きます。

扉本体と枠材の間に化粧板を図のように差込みます。
扉枠右(左)を取り付けなおします。

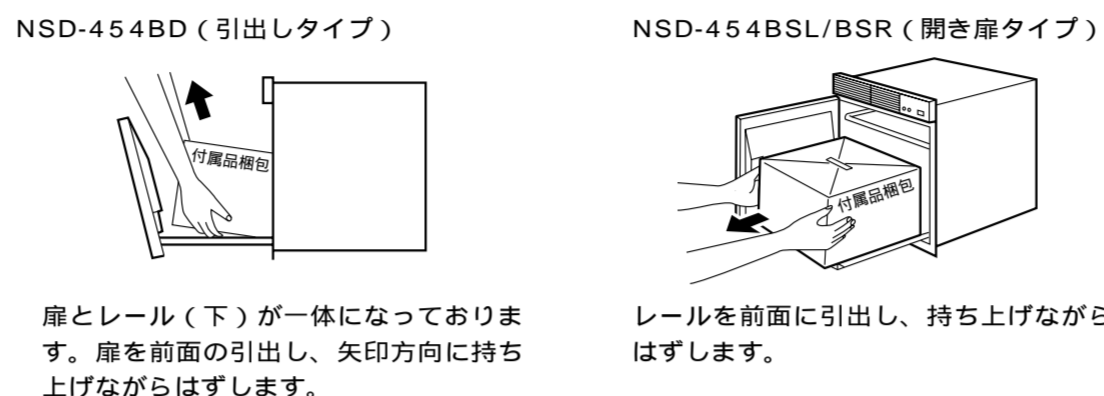
化粧板にガタツキがないことを確認してください。

2 本体の取付け

本体から付属品梱包を取り出し、レール(上・下)をはずします。

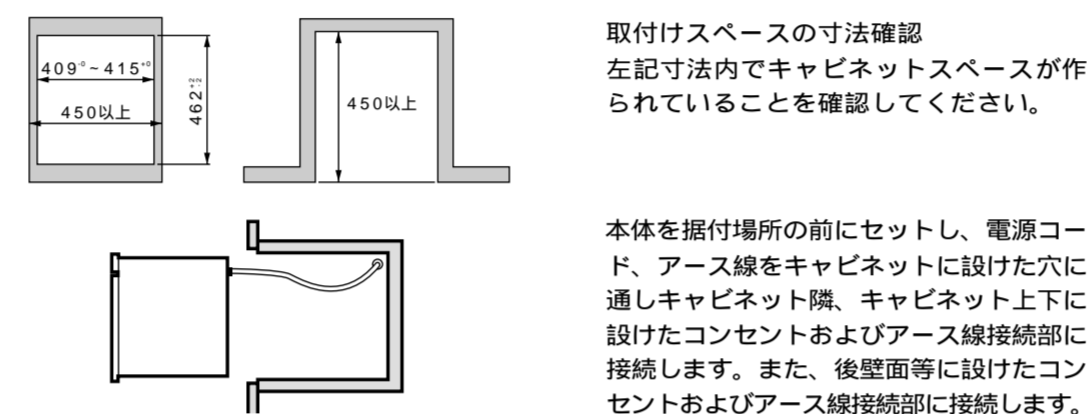
警告
このとき、食器かごやレール等を固定している包装用テープをすべて取りはずすこと
ご使用中、火災などの原因になります。

1



扉とレール(下)が一体になっており、扉を前面の引出し、矢印方向に持ち上げながらはずします。

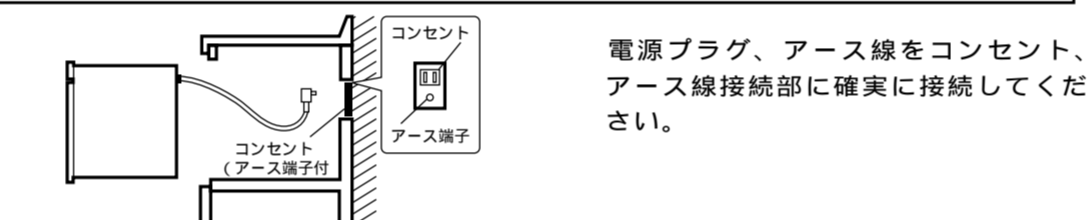
レールを前面に引出し、持ち上げながらはずします。



取付けスペースの寸法確認
左記寸法内でキャビネットスペースが作られていることを確認してください。

本体を据付場所の前にセットし、電源コード、アース線をキャビネットに設けた穴に通しキャビネット隣、キャビネット上下に設けたコンセントおよびアース線接続部に接続します。また、後壁面等に設けたコンセントおよびアース線接続部に接続します。

警告
電源コードは直結しないこと
電源プラグを切断し、直結することはさけてください。漏電の原因になり、修理サービスができなくなることがあります。



電源プラグ、アース線をコンセント、アース線接続部に確実に接続してください。

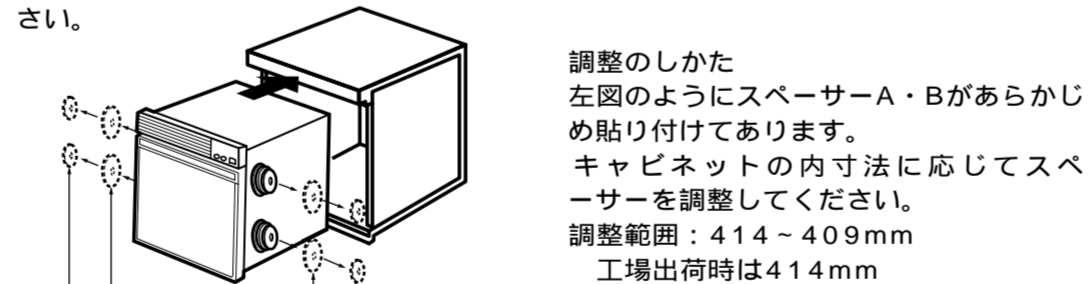
本体スペーサーを調整しながら本体をキャビネットに挿入します。

警告
電源コード、アース線をキャビネットの間にはさまないこと
本体をキャビネットに挿入する際、電源コードや、アース線が本体とキャビネットの間にはさまないように注意してください。電源コード、アース線が傷んで、ショート・感電・発火の原因となります。

本体とキャビネットにガタツキが生じないよう確実にスペーサーを調整し挿入すること
本体とキャビネットにガタツキが生じると変形やレール脱落およびレール操作の不具合等が生じて事故の発生する恐れがありますので、確実にスペーサーを調整し挿入してください。調整のしかたは、下記を参考にしてください。

2

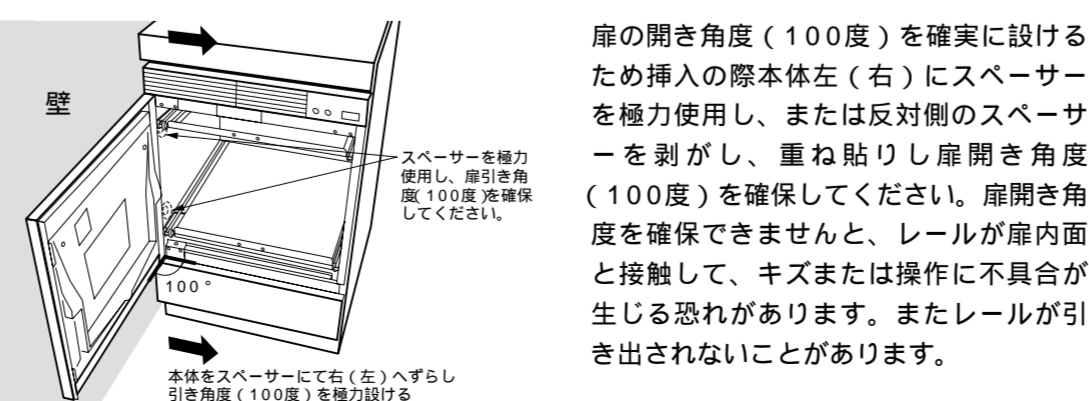
製品の变形やガタツキおよびレール脱落、レール操作の不具合防止のため、収納するキャビネットの内寸法により、本体スペーサーを剥がして本体幅寸法を調整してからキャビネットへ挿入してください。調整は極力本体幅寸法とキャビネットスペース幅寸法が同幅になるように調整してください。ガタツキが生じないようにしてください。電源コード、アース線が本体とキャビネットの間にはさまないように注意してください。



調整のしかた
左図のようにスペーサーA・Bがあらかじめ貼り付けてあります。キャビネットの内寸法に応じてスペーサーを調整してください。調整範囲: 414～409mm
工場出荷時は414mm

挿入の際、キャビネット左隣(右隣)に壁が隣接してあるキッチンモジュールでは下記の対応が必要になります。(BSL/BSRの場合)

警告
扉の開き角度(100度)を確実に確保すること(BSL/BSRの場合)
扉開き角度(100度)を確保できませんと、レールが扉内面と接触して、キズまたは操作に不具合が生じる恐れがあります。またレールが引き出されないことがあります。



扉の開き角度(100度)を確実に設けるため挿入の際本体左(右)にスペーサーを極力使用し、または反対側のスペーサーを剥がし、重ね貼りし扉開き角度(100度)を確保してください。扉開き角度を確保できませんと、レールが扉内面と接触して、キズまたは操作に不具合が生じる恐れがあります。またレールが引き出されないことがあります。

本体をセットして位置決めし、キャビネットに固定します。

警告

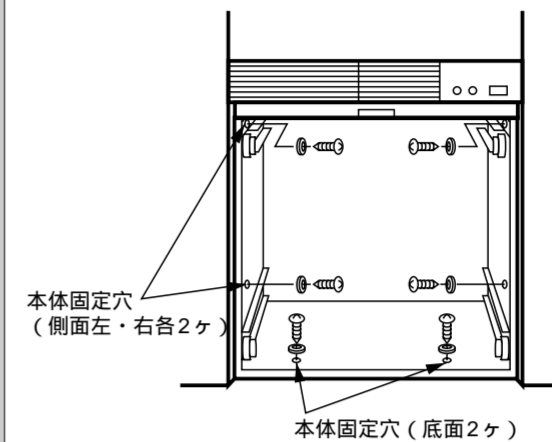
必ず2面以上固定すること

左右両側面または、底面と左右どちらかの側面2面以上固定されていませんと、食器かごを引き出した場合本体がぐらついたり、前面に倒れて事故の原因になります。また、側面を固定するときは本体がゆがまないように注意してください。



確実に固定

3



左図のように本体固定用の穴(側面左・右各2ヶ、底面2ヶ)があててあります。この穴を利用して本体に確実にキャビネットに固定してください。
底面の固定は付属されている4×25ねじ(2本)および、ワッシャ(2ヶ)を用意して固定してください。
側面の固定は付属されている4×16ねじ(4本)および、ワッシャ(4本)を使用して固定してください。

4

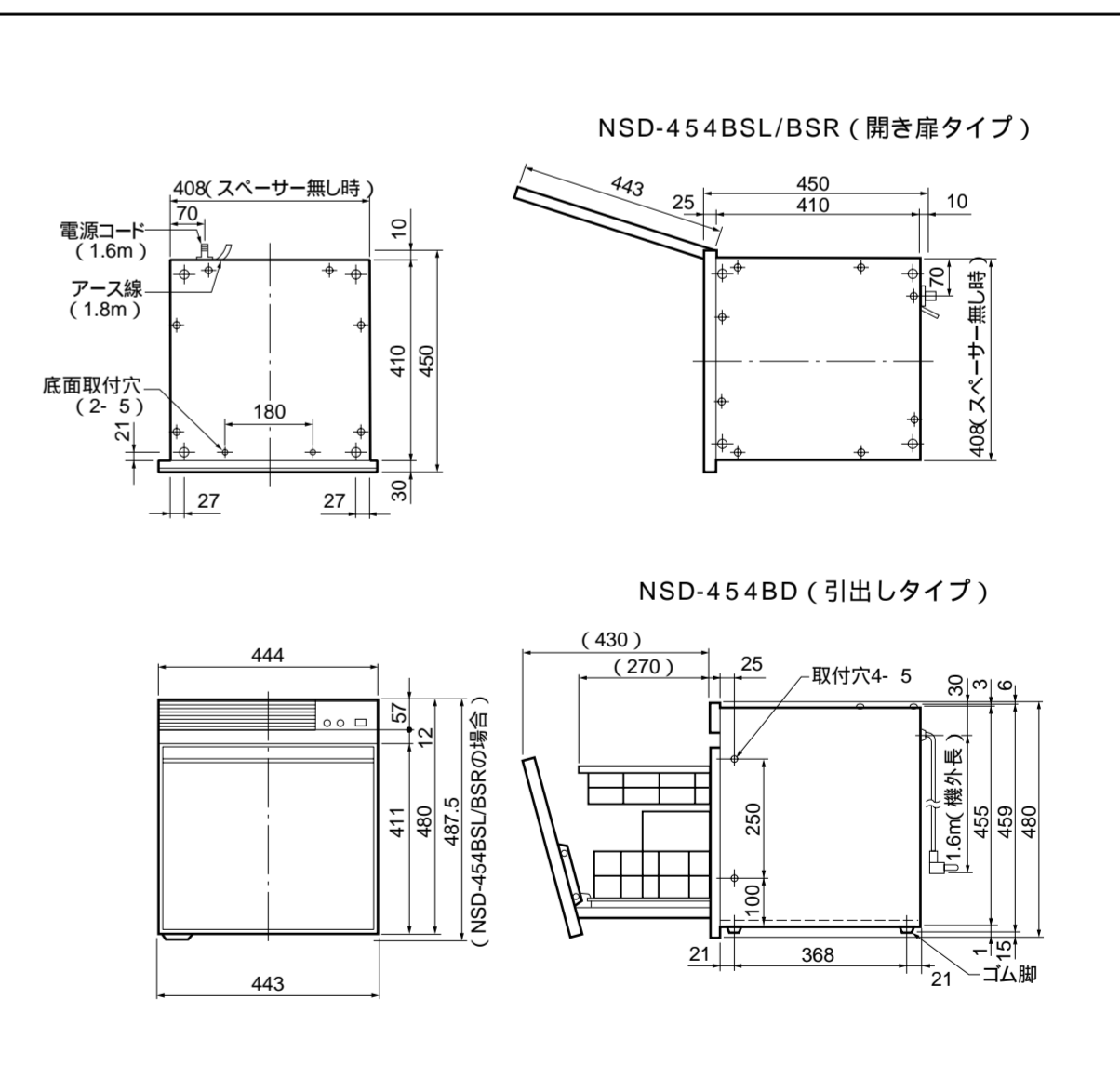
上かご、下かご、水受皿、小物かごなどをセットしてください。
取扱説明書7ページ「皿立て類と食器かごのセットのしかた」に従ってセットしてください。

4 工事完了後の確認

試運転

試運転の順序は、取扱説明書9～11ページ「正しい使い方」をご参照ください。試運転のときには、お客様に使用方法や注意事項を十分説明してください。

外形寸法 (単位: mm)



株式会社 東芝 家電機器社 HAクリエーション部
〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1 (東芝ビルディング)